

GitHub 入門（インストラクション）

産業技術大学院大学
中鉢欣秀

2016-08-14

1 GitHub 入門

1.1 この資料の入手先

- https://github.com/yhubachi/github_practice

1.2 この授業について

- この授業では Git の初心者が、基礎的な Git コマンドの利用方法から、GitHub フローに基づく協同開発の方法までを学ぶ

1.3 事前準備

- 事前に git コマンドが利用できる環境を用意しておくこと
- CUI 端末での shell による基本的な操作を知っているとスムーズに演習ができる

1.4 授業の構成

- 個人演習では、テキストの指示に従い、Git/GitHub を利用するにあたり必要となる知識を学ぶ
- チーム演習では、GitHub を活用した協同開発の方法を深く学ぼう

1.5 授業の進め方

1. 演習の解説

- 講師が授業の進め方を説明する

2. Git/GitHub を学ぶ個人演習

- 個人演習を通して Git/GitHub の使い方を学ぶ

3. チーム演習

- チームでの開発演習を実施する

2 個人演習の進め方

2.1 個人演習のテキスト

- 個人演習のテキストは次のリンクから入手
 - [Web ページ](#)
 - [ハンドアウト \(PDF\)](#)

2.2 個人演習からチーム演習への流れ

- この授業では最初に個人演習を行い、その後、チームによる演習に進む
- その際、チーム編成が既に済んでいるか、または、そうでないかで演習の進め方が異なる

2.3 チーム編成が済んでいる場合

- 個人演習としてテキストの課題に取り組む
- テキストを終えたメンバーは他のメンバーを積極的に助ける
- 全員がテキストを終えることを目指す
- 全員が完了、もしくは、時間になったらチーム演習に進む

2.4 チームがまだできていない場合

- 個人演習としてテキストの課題に取り組む
- テキストを完了したら講師・TA に伝えること
- その後、チーム編成を経てチーム演習に進む

2.5 チームがまだできていない場合の編成方法

- 個人演習が完了した者から順番に 2 名ずつのペアを組んでいく
- できたペアはチーム演習を開始する
- 受講者の半数がペアになったら、その後にテキストを終えた者は既存のペアに追加していく
- 最終的に 3～4 人のグループにする

2.6 補足資料

issue

2.7 提出物

2.8 評価方法

評価はチーム開発の成果物による

- 名前
- GitHub ID
- 学籍番号
- 学内 email アドレス
- チーム開発に用いた GitHub の URL
- 各自の作業内容
-

全員が自分の GitHub アカウント名.html を作り
コミット何回か修正を繰り返す

コンフリクトの演習だけれど index.html を作成
各自が index.html に自分の html ファイルへのリンクをはるマージするとコンフリクトが発生するので